

ヒグマについてのお知らせ

11月は大きな出来事なく、ヒグマの冬眠時期に入ろうとしています。雪が積もった後の18日には双珠別、19日には上トマムで山へ向かう足跡を見つけました。冬眠に向けた移動かもしれません。過去の事例では、冬眠の入りは11月中ごろにも始まっていますが、個体によっては12月下旬まで活動し、中には1月上旬に活動が確認された事例もあります。ヒグマは冬眠期間中でも周囲環境や物音によって覚醒し、活動を再開する可能性があります。油断は禁物です。

村では冬も引き続きヒグマ情報を集めてまいります。

村では冬も引き続きヒグマ情報を集めてまいります。

注) 情報の有無に係わらず、村内は、どこでもヒグマがいる可能性があります



11/19 中型足跡
12.0±0.5cm



11/18
中型足跡
12.5±1cm

ヒグマ情報の連絡先
占冠村役場 農林課
林業振興室 野生鳥獣担当
☎0167-56-2174
占冠駐在所
☎0167-56-2110



ヒグマ情報マップは村ホームページにも掲載しています
<http://www.vill.shimukappu.lg.jp/shimukappu/section/nourin/ringyou/nmudtq000002reii.html>

よろしくお願い致します。占冠村役場 農林課 林業振興室 電話0167-56-2174

11月14日 上トマム 環境整備作業

ヒグマによる人身事故のリスクを低減する方法として、市街地周縁部で行う草刈りはよく知られています。本村でもヒグマの市街地接近が比較的に多い上トマムを中心に行っており、主に初夏、イタドリやフキ、イラクサなどの高茎草本を刈り倒し、地表の見通しをよくするとともに、ヒグマのエサの除去を図っています。そうした作業中に気付くこととして、草以外の、高い木の下枝や低木、片付けられていない倒木や落枝も視程にかなり影響していること、またそれらが草刈りの障害にもなっていることがあります。そこで今回は、草が枯れた時期を狙って、村道の法面などに生えた雑木を除去する作業を実施しました。



今回の作業が来年のヒグマ対策に効果を発揮できるか否かは、来年の然るべき時期に草刈りをする事と、改善された視程を活かしてヒグマの早期発見に努めることにかかっています。どれかひとつかやれば済むわけではないヒグマ対策、これからも地域の皆さまと一緒に、様々な手法を重ねて取り組んでまいります。

(今回の作業は、農林水産省鳥獣被害防止総合対策交付金〜クマ特別対策事業を利用しました)

当日はあいにくの雪模様でしたが、村職員と近隣の農業者、おなじみ酪農大生など10名ほどで、村道循環線やトマム学校校庭北側、トマム保育所南側で作業を実施しました。チェーンソーや手鋸で小径木や枝条を片付けたほか、可搬ポンプと洗浄ノズルで歩道に堆積した土や落葉を除去しました。伐倒したヤナギやハンノキの幹は薪にするため集積しました。



ヒグマミーティング 今年度もやりましょう!

「ヒグマ知」の普及を通じて「ヒグマに強い地域づくり」を目指す勉強会です。冬の開催が恒例となっていますが、いかほどの効果があるのか、どんな形態がよいのか、どんな内容が求められているのか、毎회가試行錯誤な上、正直なところ、その手応えもいささか心許ないところです。

さてはこの冬はいかがでしょうか。計画はまだ白紙ですので、ぜひとも皆様からご意見やご要望をお寄せいただき、有意義な内容にしたいと存じます。



昨年度(第8回)の様子

占冠村役場 農林課 林業振興室
電話0167-56-2174